LiveCycle ES2.5 用語集

この用語集に含まれている用語の定義は、Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite 2.5（ES2.5）のドキュメントに固有の定義です。これらの用語は、別のコンテキストでは異なる意味を持つこともありますが、このドキュメントではその意味が限定されています。

A

Acrobat フォーム

Adobe Acrobat® Professional または Acrobat Standard で作成された、1 つ以上のフォームフィールドを含む Adobe PDF ドキュメント。PDF ドキュメントには他のコンテンツを含めることもできます。「PDF フォーム」（2 ページ）および「XML フォーム」（3 ページ）も参照してください。

ActionScript

スクリプト用の標準化された言語である ECMAScript に基づいたスクリプト言語。Adobe Flash® オーサリング、Adobe Flex® および LiveCycle ES2.5 における、データとコンテンツの実行時の処理で使用されます。ActionScript® は、Adobe Flash Player に組み込まれた ActionScript Virtual Machine（AVM）によって実行されます。非同期機能、コールバック、XML の送受信などの機能が用意されています。

Adobe 認証ドキュメント

特定の Adobe ルート証明書で署名されたドキュメント。Adobe 認証ドキュメントでは、ドキュメントの信頼性と不変性が 強力に保証されます。「証明書」（7 ページ）も参照してください。

AMF

Action Message Format。ActionScript オブジェクトを効率よくシリアライズするために使用されるバイナリメッセージ形式。RTMP のデータ部分と同様に、AMF のバイナリコンテンツは HTTP（または SSL でラップされた https）の POST メッセージの本文で配信されます。

Assembler

Adobe LiveCycle Data Services 3.1 Data Management Service で使用される Java™ クラス。データアダプタから渡されるデータ変更を受け取る方法が含まれます。Assembler クラスを使用することで、サーバー上の Java オブジェクトは、Flex クライアントアプリケーションの ActionScript オブジェクトと同期できます。

注意 : Assembler Java クラスは、Assembler サービスとは異なるものです。

C

CAD アセンブリ

（Adobe LiveCycle PDF Generator 3D 9）3D オブジェクトを表す CAD ファイル群の階層。アセンブリのメインファイルが階層のルートになります。メインファイルは、集積化 3D オブジェクトで使用される 3D オブジェクトを含む他のファイル（パーツファイル、サブアセンブリファイル）への参照を提供します。参照先のファイルは、さらに別のサブアセンブリファイルやパーツファイルを参照することもできます。

F

FormCalc

一般的なスプレッドシートソフトウェアで使用されるものに類似する計算言語。これにより、従来のスクリプト技術やスクリプト言語の知識がなくても簡単にフォームをデザインできます。

I

IVS
（インストール検証サンプル）インストールの検証に使用するサンプル。LiveCycle ES2.5 サービスに転送するフォーム、データおよび構成ファイルをテストする場合にも使用します。

L

LCA ファイル
LiveCycle ES2.5 アーカイブファイル。ファイルと、アプリケーションのデプロイメントの際に使用できるメタデータが含まれています。Workbench 9.5 のリソースビューに保存されている任意のファイルを使用できます。

LiveCycle Remoting
Flex アプリケーションからサービスメソッドを呼び出せるようにする Data Services 3.1 の機能。

LiveCycle Service Discovery
（Workbench ES2）LiveCycle ES2.5 サーバーに接続し、使用可能な LiveCycle ES2.5 サービスを調査し、クライアント側コード（ActionScript）を生成する Adobe Flash Builder™ 4 のプラグイン。LiveCycle Remoting を使用して LiveCycle ES2.5 サービスを呼び出す Flex アプリケーション（SWF ファイル）を構築するための簡単で強力な方法を提供します。

M

Message Service
パブリッシュ / サブスクライブメッセージング機能が Flex クライアントに提供されます。Message Service を使用して、サードパーティの Java Message Service（JMS）プロバイダとインタラクティブにやりとりすることもできます。

MXML
ユーザーインターフェイスを宣言的に記述するための Adobe XML ベースのマークアップ言語。MXML に含まれる豊富なタグのセットを拡張して、カスタムコンポーネントを作成することもできます。MXML で定義されたユーザーインターフェイスは、Flash Player でレンダリングでき、使いやすいユーザーエクスペリエンスを提供します。

P

PDF
Portable Document Format の略。様々なアプリケーションとプラットフォームで作成されたソースドキュメントのフォント、画像およびレイアウトを維持する汎用的なファイル形式。

PDF パッケージ
添付ファイル（コンポーネントファイル）以外に、コンポーネントドキュメントの構成に使用される追加情報（日付、著作者、トピックなど）を含んだ PDF ドキュメント（カバーシート）。PDF パッケージの作成時に、カバーシートを表示させたり、Acrobat にカバーシートを表示させるようにできます。PDF パッケージ内のファイルは、様々な形式にすることができ、各種のアプリケーションで作成できます。

PDF フォーム
1 つ以上のフォームフィールドを含む PDF ファイル。PDF フォームは、Acrobat または Designer 9 で作成できます。「Acrobat フォーム」（1 ページ）および「XML フォーム」（3 ページ）も参照してください。

PDF ポートフォリオ
同じタイプまたはタイプの異なる複数のファイルを含む包括的で分類分けされたパッケージ。また、ユーザーがポートフォリオ内のドキュメントを表示できるようにする PDF ポートフォリオレイアウトも含まれています。

PDF ポートフォリオレイアウト
PDF パッケージに含まれたドキュメントを表示するためのインターフェイス。このインターフェイスは、ActionScript プログラム、プログラムが使用するリソース（グラフィックやローカライズされた文字列）および XML ファイルで構成されています。これらのユーザーインターフェイスは、WinZip などのデータ圧縮プログラムで圧縮されています。

R

RIA
リッチインターネットアプリケーション。従来のデスクトップアプリケーションの機能を備えた Web アプリケーションです。RIA では、通常、ユーザーインターフェイスに必要な処理は Web クライアントに転送されますが、データの大部分はアプリケーションサーバーに保持されます。

RPC コンポーネント
Remote Procedure Call コンポーネント。一般的な Flex アプリケーションでは、RPC コンポーネントは 1 つ以上の RPC サービスへの入力としてデータを送信します。RPC サービスが実行されると、要求を行った RPC コンポーネントに結果のデータが返されます。Flex RPC コンポーネントは、サービス指向アーキテクチャ（SOA）に基づいています。サービスアダプタは、Flex の宛先をバックエンドシステムにブリッジします。

W

Web スクリプト
Content Services 9 を開いて、他のツールおよびアプリケーションにアクセスできるようにします。Web スクリプトは、Content Services 9 リポジトリ内で管理されるドキュメントから、動的なフィードを生成します。それぞれの Web スクリプトは、HTTP メソッドおよびカスタム URL にバインドされます。Web スクリプトには、データ Web スクリプトとユーザーインターフェイス Web スクリプトの 2 種類があります。

X

XDP ファイル
XML データパッケージ。Designer 9 では、フォームデザインが XDP ファイルとして保存されます。XDP ファイルは、ガイド、PDF、HTML、または SWF ファイルとしてレンダリングできます。

XML Forms Architecture
Adobe XML フォームソリューションの基になるテクノロジの表現。クライアントまたはサーバーで使用するための堅牢かつ柔軟なフォームベースアプリケーションの作成を実現します。

XML フォーム
Adobe XML Forms Architecture に準拠する PDF フォーム。通常は Designer 9 で作成されます。元のフォームデザインのファイル拡張子は、.xdp または .pdf です。「Acrobat フォーム」（1 ページ）および「PDF フォーム」（2 ページ）も参照してください。

あ

アクション
（Adobe LiveCycle Designer 9）フォームに追加できる実行時操作。従来は、ボタンをクリックする、ダイアログボックスを開くなどのアクションを追加するにはスクリプトを記述する必要がありました。このバージョンから、スクリプトを記述せずに追加できるようになりました。スクリプトを記述しなくても、アクションを作成すれば、自動的にスクリプトが作成されます。

アクションのプロファイル
フォームとガイドのプロパティ。アクションのプロファイルは、フォームやガイドおよびそれらで使用されるデータをユーザーにどのように表示するかを指定します。さらに、アクションのプロファイルは、ユーザーから送信されたデータをプロセス変数内に保存する前に、そのデータをどのように処理するかを指定します。

アクセシブルなフォーム
視力やその他の障害のあるユーザーが、スクリーンリーダーやその他の支援技術を利用して表示したり入力したりできるフォーム。「タグ付き Adobe PDF フォーム」（8 ページ）も参照してください。

アクティビティ
ユーザーまたはシステムによってプロセス内で実行される作業を示す一般的な用語。Adobe LiveCycle Workbench 9.5 では、アクティビティは角の丸い長方形で表されます。

アスペクト
コンテンツモデルに関連する基本概念。アスペクトを使用すると、既存のコンテンツタイプに機能を追加できます。アスペクトにはプロパティを設定できるので、アスペクトを追加すると、コンテンツタイプをプロパティで強化できます。アスペクトには、動作とワークフローを設定することができます。

アプリケーション
LiveCycle ES2.5 によって実行される独立したアプリケーションを含む、相互に依存する一連のファイル。アプリケーションには、フォームデザイン、JavaServer Pages（JSP）、HTML ページ、SWF ファイル、サーブレット、画像などのファイルが含まれます。

宛先
Flex クライアントアプリケーションから呼び出すサーバー側オブジェクトの論理的表現。宛先の種類の例として、Proxy Service、Message Service、Data Management Service の宛先があります。

暗号化
権限のない人物には簡単に解釈できない、**暗号文**と呼ばれる形式にデータを変換すること。この変換は、暗号化アルゴリズムを使用して行われます。

い

イベント
（Workbench 9.5）ビジネスプロセスの過程で発生する事柄。イベントはプロセスのフローに影響を与えます。通常、イベントには原因（トリガー）や影響（結果）があります。イベントには、非同期、タイマー、例外の 3 種類があります。イベントは円で表されます。

（Designer 9）フォームの状態を変化させる発生事項またはアクション。状態が変化すると、イベントと関連付けられた計算またはスクリプトが自動的に呼び出されます。

（LiveCycle Rights Management 9）ポリシーの変更。Rights Management サービスは、ドキュメントにポリシーが適用されたり、ポリシーで保護されたドキュメントが開かれたり、ドキュメントへのアクセスが取り消されたりなどの特定のアクションの実行時に、そのアクションを追跡します。

インターセプタ
実行可能オブジェクト。互いに連結させて、追加した順に実行できます。インターセプタは特定のタスクを要求および実行します。

インタラクティブフォーム
ユーザーがインタラクティブに操作でき、オンライン（例えば、PDF、ガイド、HTML、Flex アプリケーション）とオフライン（例えば、PDF）の両方で電子的に入力できるフォーム。「非インタラクティブフォーム」（9 ページ）も参照してください。

え

エンドポイント
所定のプロトコルでサービスに接続するためのメカニズム。サービスを呼び出す方法が指定されています。

か

ガイド
（以前の**フォームガイド**）ウィザードのような方法を使用してフォーム入力プロセスの手順をユーザーに示す、フォームの代替ビュー。

ガイドレイアウト
ナビゲーションツール（ツリー、上部タブ、ボタンバー）、パネルレイアウトおよびカスタムコンポーネントを含む、ガイドのエンドユーザーインターフェイスを構成するすべてのコンポーネントを統合します。

カスタム SWC ファイル
カスタム ActionScript クラスとアセットの、開発者が作成したコンパイル済みライブラリ。Flex アプリケーションでカスタム SWC ファイルを使用するには、コンパイル前にライブラリパスに追加する必要があります。

き

機密設定
ドキュメントに対するユーザーのアクセスの種類を決定する設定。これにより、印刷、コピー、変更、署名やコメントの追加、オフライン表示などをユーザーが実行できるかどうかが決まります。管理者が設定できる機密設定には、ドキュメントアクセス権の取り消しやポリシーの切り替えも含まれます。

く

クライアント
クライアント / サーバーの関係で、要求する側のプログラム。Web ブラウザ、Flex RIA クライアントアプリケーション、Adobe Reader® は、クライアントアプリケーションの例です。

クリックスルー電子署名
ユーザーと Adobe LiveCycle Process Management 9 の各タスクとの間のやり取りを電子的に記録したもの。LiveCycle ES2 データベースに保存されたデータを使用して、ユーザーが行った操作と、その操作をいつどこで行ったかを特定することができます。

け

ゲートウェイ
1 つ以上のブランチが含まれ、シーケンスフローの分岐と収束を制御するために使用される、プロセスダイアグラムのエンティティ。Workbench 9.5 では、ゲートウェイは菱形で表されます。

権限
（LiveCycle ES2.5）セキュリティ設定。例えば、ユーザーによる PDF ファイルのオープン、編集、印刷、暗号の削除などの操作を制限するために適用されます。権限は、権限パスワードがないと変更できません。

（Adobe LiveCycle Content Services 9）文字列で識別されるセキュリティの種類。ReadChildren などの特定の権限は、特定の機関、ユーザー、グループ、管理者、所有者に対して拒否または付与することができます。子ノードは親から権限を継承します。このため、デフォルトでは、フォルダ内のファイルはフォルダから権限を継承します。コンテンツノードに設定された権限は、親ノードに設定された権限よりも優先されます。権限の継承は、いかなるノードに対してもオフになる可能性があります。

権限グループ
便利な権限のグループです。例えば、Read は ReadProperties と ReadChildren で構成されます。特定のコンテンツノード用に、ある機関に割り当てられた権限グループは、**ACL**（アクセス制御リスト）と呼ばれます。コンテンツノードに関係なく、ある機関に割り当てられた権限グループは、**グローバル権限**と呼ばれます。

権限を付与されたドキュメント
フォームの入力、コメントの追加、ドキュメントへの署名などのタスクを Adobe Reader ユーザーに対して許可することができるセキュリティ拡張を含む PDF ドキュメント。

こ

固定レイアウト
デザインされたままの状態で維持されるフォーム、フォームデザインまたはドキュメントレイアウト。このレイアウトは受信データの量に応じて変更されることはありません。

コンシューマ
Data Services 3.1 Message Service の宛先からのメッセージを受信するために使用する Flex クライアントコンポーネント。「プロデューサ」（9 ページ）も参照してください。

コンテンツアクション
コンテンツノード上で実行される作業の単位。例えば、アスペクトの追加、コンテンツノードのコピー、電子メールの通知があります。コンテンツアクションには、必要に応じて様々な条件を設定できます。アクション条件は、アクションを実行できるかどうかの指定に使用されます。

コンテンツストア
リポジトリの一次元のパースペクティブで、特定の自動化された使用を目的としています。通常リポジトリには、格納されたコンテンツノードの複数階層のパースペクティブが含まれます。それぞれのパースペクティブは、定義済みのプロトコルに従って、有意義な自動化機能を実現します。コンテンツストア参照は、ストアプロトコル（アーカイブ、ワークスペース、システムなど）とストア ID（SpaceStore、ユーザーなど）で構成されます。

コンテンツノードを検出、または必要に応じて書き込みできる任意の場所（Data Dictionary、ワークスペースなど）を指定できます。コンテンツストアが示すのは物理的な場所に限定されず、仮想領域も指定できます。

コンテンツノード
コンテンツツリーの標準リポジトリ要素。コンテンツノードは、コンテンツとコンテンツスペースを識別するために、他のコンテンツノードと関連付けられます。コンテンツノードには、検索と処理などの自動化されたコンテンツを使用するための、重要なメタデータが含まれます。コンテンツノードは、様々なタイプ（例えばフォルダタイプ）に設定できます。それぞれのタイプは独自のメタデータと動作を持ちます。コンテンツとフォルダは追加設定不要のタイプです。他のコンテンツノードを含めることができるコンテンツノードは、技術的に呼び出される空間です。

コンテンツモデル
関連するコンテンツタイプとアスペクトのコレクション。コンテンツモデルは、別のモデル内の定義を参照する場合があります。コンテンツモデルはそれぞれ独自の XML ファイルで記述され、定義済みの名前空間および名前で識別されます。

コンテンツルール
ルールタイプを持つ、複合型コンテンツアクション。コンテンツルールには、任意の数のコンテンツアクションを含めることができます。複数の条件が、1 つのコンテンツルールに結合される可能性があります。

コンテンツルールタイプ
コンテンツルールごとに、そのコンテンツルールを起動するリポジトリ内のイベントの種類を特定するコンテンツルールタイプを持ちます。コンテンツルールが起動されると、ルールが示す複合型のコンテンツアクションが実行されます。コンテンツルールタイプは、複数のコンテンツルールトリガーで構成されます。

コンテンツルールトリガー
リポジトリのポリシーに関連し、ポリシーをアクティブ化したときに獲得した情報を、コンテンツルールを起動するために必要な情報に変換します。

コンポーネント
サービスのデプロイ、統合および実行を目的としてサービスコンテナにプラグインされている製品の独立した単位。

物理的には、コンポーネントは、Java アーカイブファイルとしてパッケージ化されている 1 つ以上のサービスの基になるリソース、メタデータおよびバイナリの 実装を表している点で、Java 2 Platform Enterprise Edition（J2EE）モジュールと似ています。コンポーネントに依存するサービスをデプロイする前に、コンポーネントをインストールする必要があります。

コンポーネントには、1 つ以上のサービスのデプロイと実行をサポートするためにレジストリにインストールされる有形の実装（クラス）、リソース、およびメタデータがパッケージ化されています。

さ

サービス
クライアントの要求に応じて操作を実行する LiveCycle ES2 サーバー上で実行されるソフトウェアアプリケーション。「コンポーネント」（7 ページ）も参照してください。

サービス設定
サービスの複数のバージョン。

し

事前入力済みフォーム
一部またはすべてのフィールドにデータが自動的に入力された状態でユーザーに表示されるフォーム。

自動オプション
LiveCycle ES2.5 製品ファイル、アプリケーションサーバーおよびデータベースを自動的にインストールおよび設定し、製品ファイルをアプリケーションサーバーにデプロイするインストールオプション。自動インストールが完了すると、LiveCycle ES2.5 を使用できるようになります。

使用権限
Adobe Reader の機能を拡張する権限のセット。これにより、ユーザーは、データを含むフォームの保存、コメントの追加、ドキュメントへの署名などのタスクを実行できるようになります。

使用権限秘密鍵証明書
Adobe LiveCycle Reader Extensions 9 に固有な電子証明書。これにより、生成された PDF ドキュメントで Adobe Reader の追加機能を使用できるようになります。使用権限秘密鍵証明書は、Reader Extensions 9 で処理された各 PDF ファイルの使用権限を拡張するために使用されます。

証明書
インターネット Web 上で商取引やその他の取引が行われるときに、ID を公開鍵に関連付けることによってユーザー情報を確立する電子ファイル。証明書（**電子証明書**と呼ばれる場合もあります）は、認証局（CA）によって発行されます。「Adobe 認証ドキュメント」（1 ページ）および「秘密鍵証明書」（9 ページ）も参照してください。

信頼済み ID
関連付けられた証明書によって認識される ID。フォームに署名できるのは、指定された信頼済み ID だけです。

す

スクリプトフラグメント
複数の XDP ファイルで再利用できる FormCalc または JavaScript のコード。

スペース
コンテンツ項目とその他のスペースを、格納および編成するために使用します。スペースには、あらゆる種類のコンテンツを含めることができます。スペースおよびそのコンテンツは 1 つの場所から別の場所へ移動またはコピーできます。各スペースには、スペースやその周囲のコンテンツに対して変更を加えることのできる所有者がいます。スペースは、入力コンテンツ、終了コンテンツ、または現在スペース内にあるコンテンツの管理方法を定義するコンテンツルールを持つことができます。**スマートスペース**は、自動コンテンツアクションに対して適用する規則を持つスペースです。

スペーステンプレート
新しいスペースを作成するために使用できる、事前定義済みのコンテンツルールとサブスペースを持つテンプレート。

せ

制限されたドキュメント
パスワードによるセキュリティ制限（権限）がある PDF ドキュメント。ドキュメントのオープン、印刷、編集などが制限されます。

セキュリティハンドラ
暗号化プロセスの様々な側面を実装し、暗号化されたドキュメントの内容へのアクセスを制御するソフトウェアモジュール。署名の方法やその検証の方法など、すべてのセキュリティロジックが含まれています。

そ

操作
（Workbench ES2）アクティビティの実際の実装を表すために、プロセスダイアグラムに追加されます。サービスは 1 つ以上の操作で構成され、各操作は関連するコンポーネントとのやり取りを表します。操作は、Web サービス、Java API、Remoting、電子メール、監視フォルダなどの様々なエンドポイントから呼び出すことができます。

た

タグ付き Adobe PDF フォーム
論理構造および様々な要素間の定義済みの関係や依存関係のセットを含むフォーム。折り返しのための追加情報も含まれています。「アクセシブルなフォーム」（4 ページ）も参照してください。

て

デザイン時リポジトリ
サーバーにチェックインされるアセット用のコンテンツの保存場所。サーバーのデータベースに保存されたこれらのアセットは、サーバー側のアとクセス権限で保護され、関係する開発者だけがチェックアウトできます。

と

ドキュメントパッケージ
複数のフォームデザイン（XDP）で構成された最終形式のドキュメント（レンダリングの形式は問いません）。例えば、ウェルカムパッケージには、歓迎の言葉に続いて保険の詳細や条件が含まれます。ドキュメントが複数のフォームデザインで構成されていても出力は 1 つです（1 つの PostScript® ファイルまたは 1 つの PDF ファイル）。

は

バインド
（Flex）あるオブジェクトのデータを別のデータと結び付けるプロセス。アプリケーション内でデータを簡単に受け渡すことができます。あるオブジェクトのデータを別のデータと結び付けるには、<mx:Binding> MXML タグおよび source プロパティと destination プロパティを使用します。

（Designer 9）フォームデザイン上のオブジェクトをデータソースおよびスキーマにバインドするプロセス。

ひ

非インタラクティブフォーム
ユーザーが電子的に表示できるフォーム。非インタラクティブフォームは、印刷して手書きで記入する必要があります。また、サーバープロセスでデータを事前入力することはできますが、ユーザーがそのデータを変更することはできません。非インタラクティブフォームは、PDF、HTML、PCL または PostScript として画面に表示したりプリンタで印刷したりするために設計されています。「インタラクティブフォーム」（4 ページ）も参照してください。

秘密鍵証明書
秘密鍵を含むファイル（対応する公開鍵は証明書に含まれています）。秘密鍵は、プリンシパルが別のプリンシパルに対して提示するもので、解読や署名の操作でユーザー情報を確立するために使用されます。秘密鍵証明書は、認証エージェントや認証局によって発行されます。
電子証明書である場合や、名前とパスワードの組み合わせである場合、指紋などのバイオメトリクスである場合があります。「証明書」（7 ページ）も参照してください。

ふ

フォーム
データの収集や配信に使用される電子ドキュメント。ユーザーはインタラクティブフォームにデータを追加したり、サーバープロセスでフォームデザインをデータとマージして非インタラクティブフォームを生成したりすることができます。「インタラクティブフォーム」（4 ページ）および「非インタラクティブフォーム」（9 ページ）も参照してください。

フォームデザイン
フォーム作成者やフォーム開発者が Designer 9 を使用して作成するフォームのデザイン時のバージョン。

ブランチ
プロセスにより順次、または並行して実行される一連のアクティビティが含まれます。

プロセス
LiveCycle ES2.5 を使用して自動化されるビジネスプロセスを表します。Workbench 9.5 は、設計時にビジネスプロセスをモデリングするために使用されます。実行時のプロセスは、LiveCycle ES2.5 サーバーで実行されるサービスです。

プロデューサ
Data Services 3.1 Message Service の宛先にメッセージを送信するために使用する Flex クライアントコンポーネント。「コンシューマ」（6 ページ）も参照してください。

へ

ページアセンブリ
複数の PDF ファイルの PDF ページコンテンツをまとめるときに Assembler サービスによって実行されるタスク。

ほ

ポリシー
ドキュメント機密設定および承認されたユーザーの一覧を含む情報の集合。ポリシーに指定する機密設定によって、ポリシーを適用したドキュメントが受信者によってどのように使用されるかが決まります。ポリシーは、Rights Management 9 を使用して作成します。「ポリシーセット」（10 ページ）も参照してください。

ポリシーで保護されたドキュメント
ポリシーの適用によりセキュリティ権限が設定された PDF ドキュメントまたは PDF フォーム。PDF ドキュメントへのポリシーの適用には Rights Management 9 が使用され、PDF フォームへのポリシーの適用には Acrobat が使用されます。

ポリシーセット
共通のビジネス目的を持つポリシーのグループを表します。「ポリシー」（10 ページ）も参照してください。

も

モジュール
モジュールは、LiveCycle ES2.5 サーバーにデプロイできる顧客エンゲージメントアプリケーションを開発するために必要な機能的なサービスを提供します。

ら

ラッパー
Flex アプリケーション用の SWF ファイルを埋め込む HTML ページ。ラッパーは、高速インストールとブラウザ管理も行います。

り

リポジトリ
LiveCycle ES2.5 アセットのストレージシステム。オブジェクトのバージョンを管理し、ID または URL でオブジェクトを参照できるデータベースです。

リモートオブジェクト
サーバー側オブジェクトでメソッドを呼び出すために使用する Flex クライアントオブジェクト。

流動レイアウト
マージされるデータやユーザーによって入力されるデータの量に応じて拡張または収縮することができるフォーム、フォームデザインまたはドキュメントレイアウト。

れ

レンダリング
フォームデザインが場合によってはデータとマージされ、PDF、ガイド、HTML、または SWF ファイルとして Web ブラウザまたは Web アプリケーションに表示される処理。

© 2010 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle® ES2.5 用語集
2010 年 9 月 24 日

This document is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the glossary for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the glossary; and (2) any reuse or distribution of the glossary contains a notice that use of the glossary is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link.To view a copy of this license, visit http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/.

Adobe, the Adobe logo, Adobe Reader, Acrobat, ActionScript, Flash, Flash Builder, Flex, Flex Builder, LiveCycle, and PostScript are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Java is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the United States and other countries. Linux is the registered trademark of Linus Torvalds in the U.S. and other countries. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. UNIX is a trademark in the United States and other countries, licensed exclusively through X/Open Company, Ltd. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.